

イングリッシュウォークラリー

イングリッシュウォークラリーは「コマ図」をたよりにリーダーによる英語の指示を理解しながらコースを歩き、得点やタイムを競う活動です。ポイントに問題を設定することもできます。交流の家周辺の自然や街並みの中を歩き、各グループで協力しながら活動します。

場所	交流の家周辺	対象	小学生以上
所要時間	1～1.5 時間	人数	何名でも可
時期	全シーズン	天候	荒天時不可
指導	職員指導あり ※安全指導のみ	提出書類	実施計画書
経費	なし		



活動の 教育的効果	(1) グループの代表（指示をする人）がコマ図を見て、仲間に英語で道案内をすることで、英語での道案内に慣れ親しむことができる。 (2) グループで指示された意味を理解しながら、所外を歩くことで、道案内をする英語のキーワードに慣れ親しみ、コミュニケーション力をつけることが期待できる。
準備 するもの	団体が準備するもの
	☐ 個人：筆記用具、時計、帽子、水筒、必要に応じて雨具やタオル等 ☐ 団体：解答用紙、救急バッグ、グループ名簿、緊急連絡網等
	交流の家が貸し出すもの
	☐ 問題用紙 ☐ コマ図 ☐ バインダー ☐ ビブス ※問題用紙とコマ図はラミネートしたものの貸し出しが可能。 ※上記の物品は1グループに1セットの貸し出しが可能。
備考	☐ 問題用紙と解答用紙はホームページからダウンロード可能。 ☐ 緊急時の対応手段を決めておく。

活動の流れ

イングリッシュウォークラリー

 所
外
で
の
活
動

	時 間	項 目	内 容	備 考
活動内容 (手順)	事前	グループ 編成と ミーティ ング	☐ 実施計画書を活動日の 1 週間前までに提出 ☐ 事前にグループ編成を行う。 ☐ 指示者、指示をする順番等を決める。	☐ 実施計画書の提出 ☐ 事前にグループ数を報告
	15 分	活動方法 の説明と 安全指導	☐ 軽くウォーミングアップを行う。 ☐ コマ図を各グループに配る。 ☐ 活動の方法を説明する。 ☐ 安全に関する注意を行う。	☐ 出発前にトイレを済ませる
	60～90 分	交流の家 出発	☐ 一斉、または時間差をつけて出発 ☐ 指示者は英語でグループに道案内をする。 ☐ 指示者を交代して道案内をする。	☐ 緊急対応 ☐ 定時連絡
	15 分	交流の家 到着	☐ 参加者の点呼、健康状態の確認 ☐ 目的や活動方法に応じたグループミーティングを行う。 ☐ 貸出物品を返却する。	
想定される リスク	☐ 天候の変化による事故（濃霧による道迷い、雨による路面転倒、落雷等） ☐ 疲労や集中力低下による事故（交差点での接触事故、走行車両の見落とし、熱中症等） ☐ 道路環境による事故（側溝への転落、曲がり角での事故等） ☐ 人的要因で起こる事故（車道に広がって歩くことによる接触事故等）			
指導の バリエーション	☐ 各班のリーダーをキャンプ富士（米軍）の海兵隊に依頼することも可能。（要相談） ☐ 規定コースの各ポイントにオリジナルの問題を加える。 例：「What color is this?」「How do you say in English?」			

英語でいろいろな質問や会話をしてみよう！

これはなんですか？ ⇒ What is this?
 いくつありますか？ ⇒ How many are there?
 これはどんな色ですか？ ⇒ What color is this?
 ～はどんな形ですか？ ⇒ What shape is ~?
 何色が好きですか？ ⇒ What color do you like?
 今日は晴れています。 ⇒ It's sunny today
 今日は寒いです。 ⇒ It's cold today.